

ロイヤルカナン ジャパン、次世代の獣医療を担う学生の育成を支援 第2回オンラインイベントに16大学から約70名の獣医学生が参加

栄養学に基づいた犬と猫のプレミアムペットフードおよび食事療法食を展開するロイヤルカナン ジャパン(本社:東京都港区、社長:山本 俊之)は5月18日(火)、獣医学生を対象に、獣医師の多様なキャリアを紹介し卒業後のキャリア形成のサポートを目的としたオンラインイベント「キャリアユニバーシティ ～先輩に聞く卒業後の多様なキャリア～」(第2回)を開催し、全国16の大学から約70名の学生が参加しました。

最初に登壇した前田晴子先生(共立製薬株式会社)は、開発部門をはじめとして社内には多くの獣医師が在籍するなど、製薬会社には活躍できる様々な場がある点や、営業担当向けの学術トレーニングの実施、販促ツールの作成・提供、パートナー企業との協業など、企業で働く獣医師の具体的な業務内容を説明しました。人と同じように動物に薬を提供するという製薬会社の使命を担い、多くの動物の役に立てることや、多くの人と関われることに喜びを感じると、仕事のやりがいを紹介しました。

次に益田豊(ロイヤルカナン ジャパン)は、製品売上の進捗確認、営業資料の作成、キャンペーン立案など、セールスプランニング担当としての多岐にわたる業務内容を1日の流れも例示し紹介しました。獣医学生に対して、これからどの様な道に進んでも必ず起きる変化に対して、柔軟に対応できるよう意識しておくことが大事だとエールを送りました。

国家公務員として働く先輩となる菊池栄作先生(農林水産省動物衛生課(現 内閣府食品安全委員会))は、農林水産省における獣医系技術職員の業務内容を紹介しました。「畜産物の安全性確保」、「家畜衛生の向上」のための業務を行う消費・安全局や、「生産振興・経営安定対策」、「畜産物の流通合理化・消費拡大」のための業務を行う生産局の様々な取り組みのほか、農林水産省の機関である動物検疫所や動物医薬品検査所、関連機関である家畜改良センターなどで働く獣医師の多様な役割を紹介しました。

消費・安全局の業務内容

国民の「食の安全」を守る。国民の「いのち」を守る

畜産物の安全性確保	家畜衛生の向上
<ul style="list-style-type: none"> 動物用医薬品・飼料の安全性確保 <ul style="list-style-type: none"> 使用基準・安全基準の設定、調査・指導 薬剤耐性 (AMR) 対策 <ul style="list-style-type: none"> 国際機関や人分野と連携した薬剤耐性対策 牛トレーサビリティ制度 <ul style="list-style-type: none"> 立入検査、動物、飼育等による制度の信頼確保 獣医師及び獣医療に関する政策 <ul style="list-style-type: none"> 獣医師国家試験の実施、免許の交付 獣医師の勤向の把握や産業動物獣医師の確保 トレーサビリティ制度 産業動物獣医師 	<ul style="list-style-type: none"> 国内の伝染性疾病の防疫 <ul style="list-style-type: none"> 移住自來の畜舎保健衛生所と連携した発生予防、まん延防止の取組 発生状況の調査、飼養衛生管理基準の遵守の指導 海外からの疾病の侵入防止 <ul style="list-style-type: none"> 空海陸での水際検疫の強化 近隣諸国との正率国際機関との協力 各国との輸出入検疫協定 都道府県の防疫連携 国際会議への出席

生産局の業務内容

命をなくむ食物が生まれる場所、畜産物の生産現場を支える。

生産振興・経営安定対策	畜産物の流通合理化、消費拡大
<ul style="list-style-type: none"> 生産現場の生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> 家畜の能力向上、飼養管理方式の改善 畜産経営の規模拡大や機械化の推進 自給飼料の生産拡大 経営安定対策による畜産物の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> 畜種別の赤字補填等の経営安定対策や配合飼料価格安定制度の運用 畜産物の需給調整対策(国家貿易など) 搾乳ロボットの導入 耕作放棄地への放牧 	<ul style="list-style-type: none"> 流通の合理化 <ul style="list-style-type: none"> 食肉センター、牛乳処理施設などの流通施設の整備・統合による流通コストの低減 消費拡大対策 <ul style="list-style-type: none"> 畜産物の高付加価値化、6次産業化 和牛をはじめとする畜産物の輸出拡大 飼料用米を活用した畜産物のブランド化 和牛統一マークによる輸出促進

製薬会社の仕事 (by 共立製薬)



人と同じように、動物に薬を届ける。

人々が豊かで健康に暮らせる社会
私たちは動物医療の提供を通じてその社会に貢献します

【動物用医薬品製造販売業】

伴侶動物(CA)用医薬品事業

畜水産動物(PA)用医薬品事業



共立製薬

Copyright Kyoritsu Seiyaku Corporation All Rights Reserved. 3

セールスプランニング

製品売上の進捗
販促ツールの企画
営業資料の作成
専ら部会議のファシリテーター
セールスのサポート
各種キャンペーンの企画

最後に、動物病院で働く先輩として登壇した木村真治先生(王禅寺ペットクリニック 院長)は、開業以外での勤務医・専門医としてのキャリアの築き方や、それを支える病院が増えてきている現況を説明し、その上で研修医を中心にした動物病院の1日の流れを例に、入院管理、診療、手術、トレーニングなど多岐にわたる業務内容を紹介しました。獣医師は「ペットとの生活」を守ると同時に、命の大切さを説く大事な職業であることや、勤務医も開業医と同等以上にプロフェッショナルとしての自覚を持つ必要があると結びました。

獣医師のキャリアアップ	例：15年目 女性獣医師
研修医 1～3年目	1～3年目：研修医
↓	4～6年目：興味のある分野に集中して勉強
勤務医 4年目～	7年目：皮膚科の認定医取得
↓	8年目：皮膚科専門診療を開始
指導医 6、7年目～	9年目：結婚/産休・育休
↓	11年目：時短勤務で復帰 皮膚科専門診療を担当
副院長・専門医・分院長 10年目～	13年目：2回目の産休・育休
↓	15年目：時短勤務で復帰 現在に至る(副院長)
院長	

各獣医師の講演後に行われた座談会では、参加した獣医学生から多くの質問が寄せられました。「学生の時にしておけば良かったと感じること」に対して、獣医療と無関係なアルバイトの経験や、多くの人と知り合いコミュニティ・ネットワークを拡げておくことなど、各先生から揃ってコミュニケーション力を磨くことが大事だと回答がありました。その他にも、進路を決めた時期、就職を有利にするために行った課外活動など、獣医学生のキャリア形成のための貴重なアドバイスや考えが紹介されました。

ロイヤルカナンは今後も年2～3回のイベント開催を通して、獣医学生のキャリア形成サポートを継続する予定です。また、栄養学に限らず様々な卒後教育を充実させ、獣医学生、若手獣医師を包括的にサポートしていきます。そして、獣医療の更なる発展と未来を考え、様々な取り組みを通してサポートを行い、共に歩みを続けて参ります。

■オンラインイベント詳細

イベント名称	: キャリアユニバーシティ ～先輩に聞く卒業後の多様なキャリア～
配信日時	: 2021年5月18日(火) 18:00 ～ 20:00
内容	: ①様々な業界で活躍する“先輩”獣医師による講演 ～実際の仕事内容を教えます！～ 1.<動物病院>木村真治先生(王禅寺ペットクリニック 院長) 2.<公務員>菊池栄作先生(農林水産省動物衛生課(現 内閣府食品安全委員会)) 3.<企業>前田晴子先生(共立製薬株式会社)、益田豊(ロイヤルカナン ジャパン) ②先輩獣医師による座談会 ～“ぶっちゃけ”の話を聞いてみよう～ ③ビジネスマナー講座「社会人への第一歩、面接編」 講師:香山万由里先生(一般社団法人ファーストクラスアカデミー代表理事) 1.一瞬でデキるを印象付ける“第一印象”のコントロール 2.面接官に興味を惹かせる“仕草”のコントロール 3.採用を引き寄せる“コミュニケーション”のコントロール
対象者	: 獣医学生
受講料	: 無料

■講師プロフィール

各分野で活躍する“先輩”獣医師

1 動物病院で働く先輩 王禅寺ペットクリニック 院長 木村 真治 先生 	2 公務員（農林水産省）で働く先輩 農林水産省動物衛生課 （現 内閣府食品安全委員会） 菊池 栄作 先生 	3 製薬企業および ペットフードメーカーで働く先輩 共立製薬株式会社 前田 晴子 先生 ロイヤルカナラン ジャパン 益田 豊 先生  
---	---	--

ロイヤルカナラン社について

ロイヤルカナラン社は、50 年以上にわたり、犬と猫に真の健康を提供することに尽力しています。1968 年、フランス人獣医師ジャン カタリーにより創設されて以来、獣医師、ブリーダーなど世界中のペットの専門家との連携を通して栄養学と知識の限界を押し広げることにより、A BETTER WORLD FOR PETS™（ペットのためのより良い世界）の実現を目指しています。常に犬と猫の栄養ニーズをイノベーションプロセスの中心に置いて、犬や猫の品種、年齢、身体のサイズ、ライフスタイル、感受性、活動レベルを科学と観察を通じて研究し、それぞれの犬や猫に最適な栄養バランスのフードを開発しています。ロイヤルカナランは、責任ある原材料調達、CO2 排出量および廃棄物の削減、持続可能なパッケージ資材の使用という観点から、サステナビリティへの取り組みを推し進めています。世界 100 か所以上の市場で事業展開しているロイヤルカナランの従業員は約 7,800 名。そのうち、約 500 名が獣医師と栄養学の専門家です。また、世界中に 16 か所の工場、1 か所の研究開発センター、2 か所のイノベーションセンター、4 か所の研究所を運営しています。ロイヤルカナランの栄養学に基づいたフード製品は、世界中の動物病院、ペット専門店または公式通販サイトを通して販売されています。日本をはじめ、ヨーロッパ地域以外では、ロイヤルカナラン社はユーカヌバ製品を展開しています。ユーカヌバは愛犬の健康とアクティブな毎日をサポートするフードブランドです。

ロイヤルカナランに関する詳細: <https://www.royalcanin.com/jp/>

ユーカヌバに関する詳細: <https://www.eukanuba.jp/>

ロイヤルカナラン ジャパン企業サイト: <https://royalcanin.jp/>